

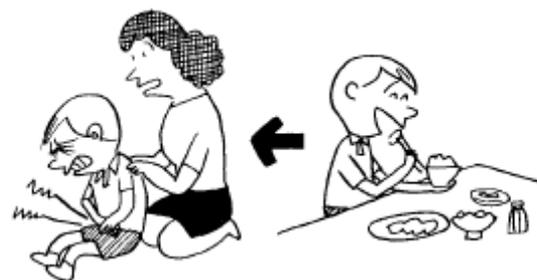
与えすぎは絶対禁物である

親は、「漢字を教えてやろう。」という気持ちを、できる限りおさえてください。親というものは、良い上にも良かれかしと思い、適度ということを考えないで、子供に無理強いをして失敗します。

食べ物と同じで、「あれも食べさせたい、これも食べさせたい。」で、過食させ、かえって病気にすることがよくあります。腹八分めと言ひ、控えめにすることが大切です。

絵本に貼り付けたら、あとはほっておいたほうがよろしい。幼児は好奇心が強いので、貼られた漢字を見れば、きっと「お母さん、これなあに。」と尋ねるはずです。

子供の質問に答えて教える。これが最も効果のある教え方です。たびたび申し上げますように、記憶の原理は“関心”です。幼児が関心を示して質問し、それに答えてやった場合は、そうでなくて教えた場合の、十倍も二十倍もの効果があります。



適度を考えず無理に教えすぎると失敗する